

量の見込みと確保の内容

■平日日中の教育・保育事業(下限時間60時間、以下同様)

事業名		教育・保育事業						
量の 見込み 及び 確保 の内容 の 考 え 方	対象者の定義	①号 1号認定 認定こども園及び幼稚園 <専業主婦(夫)家庭、就労時間短家庭> ②号 2号認定 認定こども園及び保育所 <共働き家庭> ③号 3号認定 認定こども園及び保育所+地域型保育事業 <共働き家庭>						
	単位	人						
	算出根拠等	<p>・ニーズ調査結果からみた量の見込みと実績値については、①号から③号の各号ごとにはかい離がみられる。背景としては2号の保育園・認定こども園と③号での保護者のニーズが高く出たため、結果としてこのようないかい離が発生したと考えられる。</p> <p>・ただ、3-5歳をトータルで見ると、H30年度の実績が1496人に対し、ニーズ調査では1472人とほとんど変わらないため、この補正については、H30の①号(2号幼稚園希望)含むと②号の構成比、①号626/1496=0.418、②号870/1496=0.582を各年度の該当数値に乘じたものを補正值とした。</p> <p>・③号については、0歳、1-2歳ともニーズ調査の方が多いため、R2年度はH30年度の③号合計値700を踏襲し、その割合は、ニーズ調査の0歳320/1107=0.289、1-2歳787/1107=0.711とした。</p> <p>・令和3年度は、令和2年度との比をとり、700に乘じ、乘じた結果を各年度0歳、1-2歳の割合に乘じて配分した。</p>						
	備考							
量の 見込み と 確保 内容	市全域	児童数	ニーズ量 合計	H30年度実績				
				教育	保育の必要性あり			
				3-5歳	1-2歳	0歳		
				①号	②号	③号		
	実績			626	870	503	197	
	市全域	児童数	ニーズ量 合計	R2年度				
				教育	保育の必要性あり			
				3-5歳	1-2歳	0歳		
				①号	②号	③号		
	① 量の見込み	国の手引きによる算出 補正值	2,807 2,172	2,579 2,172	210 616	1,262 856	787 498	320 202
	② 確保の内容	認定こども園、幼稚園、保育園			345	968	478	151
		確認を受けない幼稚園 地域型保育事業			395			
		②-①			124	112	4	▲42
	市全域	児童数	ニーズ量 合計	R3年度				
				教育	保育の必要性あり			
				3-5歳	1-2歳	0歳		
				①号	②号	③号		
	① 量の見込み	国の手引きによる算出 補正值	2,692 2,079	2,472 2,079	200 588	1,205 817	756 478	310 196
	② 確保の内容	認定こども園、幼稚園、保育園			345	968	478	151
		確認を受けない幼稚園 地域型保育事業			395			
		②-①			152	151	24	▲36
	市全域	児童数	ニーズ量 合計	R4年度				
				教育	保育の必要性あり			
				3-5歳	1-2歳	0歳		
			①号	②号	③号			
① 量の見込み	国の手引きによる算出 補正值	2,612 2,016	2,397 2,016	193 599	1,167 791	735 465	302 191	
② 確保の内容	認定こども園、幼稚園、保育園			345	892	458	153	
	確認を受けない幼稚園 地域型保育事業			395				
	②-①			171	101	17	▲29	
市全域	児童数	ニーズ量 合計	R5年度					
			教育	保育の必要性あり				
			3-5歳	1-2歳	0歳			
			①号	②号	③号			
① 量の見込み	国の手引きによる算出 補正值	2,549 1,972	2,341 1,972	190 559	1,146 777	713 451	292 185	
② 確保の内容	認定こども園、幼稚園、保育園			345	892	458	153	
	確認を受けない幼稚園 地域型保育事業			395				
	②-①			181	115	31	▲23	
市全域	児童数	ニーズ量 合計	R6年度					
			教育	保育の必要性あり				
			3-5歳	1-2歳	0歳			
			①号	②号	③号			
① 量の見込み	国の手引きによる算出 補正值	2,466 1,905	2,264 1,905	183 539	1,104 748	692 438	285 180	
② 確保の内容	認定こども園、幼稚園、保育園			345	892	458	153	
	確認を受けない幼稚園 地域型保育事業			395				
	②-①			201	144	44	▲18	

■地域子育て支援事業

事業名	地域子育て支援拠点事業							
	本市事業	地域子育て支援センター等						
量の 見込み 及び 確保 の内容 の考 え方	対象年齢	0歳～2歳						
	事業概要	公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等を行う。						
	単位	人回/月						
	算出根拠等	【国の手引き・方針等】 すべての家庭類型で、地域子育て支援拠点事業を利用している人及び利用希望がある人。 ・月当たりに換算したH30年度実績は2,861人/月(34,336人/年)となり、ニーズ調査の見込みを採用する。						
	備考							
量の 見込み と 確保 内 容	市全域		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)	2,861	2,910	2,805	2,727	2,644	2,568
		同(補正值)		34,920	33,660	32,724	31,728	30,816
		② 確保の内容		34,920	33,660	32,724	31,728	30,816
		②-①		0	0	0	0	0

事業名	妊婦健康診査							
	本市事業	妊婦健康診査						
量の 見込み 及び 確保 の内容 の考 え方	対象年齢	妊婦						
	事業概要	妊婦の健康保持、増進を図るとともに、安全な出産を迎えるため、妊婦健康診査を行う。						
	単位	人、回						
	算出根拠等	【方針等】 人数については、コーホート要因法で推計した推計人口から当該年度の0歳児数と翌年度の0歳児数の平均とした。 回数については、H30年度実績1人当たりの回数から算出した。						
	備考							
量の 見込み と 確保 内 容	市全域 人数		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)						
		同(補正值)	384	398	386	375	365	357
		② 確保の内容		398	386	375	365	357
		②-①		0	0	0	0	0
量の 見込み と 確保 内 容	市全域 回数		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)						
		同(補正值)	5,093	5,279	5,120	4,974	4,841	4,735
		② 確保の内容		5,279	5,120	4,974	4,841	4,735
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		乳児家庭全戸訪問事業						
本市事業		乳児家庭全戸訪問事業						
量の 見込み 及び 確保 の内容 の考 え方	対象年齢	0歳児						
	事業概要	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行う。						
	単位	人						
	算出根拠等	【方針等】 コーホート要因法で推計した推計人口の0歳児数とした。						
	備考							
量の 見込み と 確保 内 容	市全域 人数		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)						
		同(補正值)	411	404	392	381	369	360
		② 確保の内容		404	392	381	369	360
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		養育支援訪問事業						
本市事業		養育支援訪問事業						
量の 見込み 及び 確保 の内 容の考 え方	対象年齢	養育支援が必要な家庭						
	事業概要	養育支援が必要な家庭を訪問し、指導・助言等を行う。						
	単位	人						
	算出根拠等	【方針等】 H27 3人、H28 5人、H29 15人、H30 33人 H27年度からH30年度までの人数は規則性がないため、H30年度の数値の概数の30人とする。						
	備考							
量の 見込み と 確保 内 容	市全域 人数		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)						
		同(補正值)	33	30	30	30	30	30
		② 確保の内容		30	30	30	30	30
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		子育て短期支援事業						
本市事業		子育て短期支援事業(ショートステイ)						
量の 見込み 及び 確保の 内容の 考え方	対象年齢	0歳～5歳						
	事業概要	<p>【短期入所生活援助(ショートステイ)事業】 保護者の疾病や仕事等の事由により児童の養育が一時的に困難となった場合、または育児不安や育児疲れ等の身体的・精神的負担の軽減が必要となった場合に、児童を児童養育施設等で一時的に預かる。</p> <p>【夜間養護等(トワイライト)事業】 保護者が仕事その他の事由により平日の夜間または休日に不在になることで家庭において児童を養育することが困難となった場合、その他緊急の場合に、児童を児童養育支援等において保護し、生活指導、食事の提供等を行う。</p>						
	単位	人/年						
	算出根拠等	<p>【国の手引き・方針等】 すべての家庭類型で、泊まりがけの預かりにおいて「短期入所生活援助事業」を利用した人、「仕方なく子どもだけで留守番させた」と回答した人。 ・ニーズ量からの見込みはないため、実績をベースとする。ただ、H27 25人 H28 17人 H29 48人 H30 43人と規則性がみられないため、平均をとると33人となるが、H29、H30の実績値及びR元の見込み値から、その概数の40人を各年度の補正值とした。</p>						
	備考							
量の 見込み と 確保 内容	市全域		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)	43	0	0	0	0	0
		同(補正值)		40	40	40	40	40
		② 確保の内容		40	40	40	40	40
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児)						
本市事業		ファミリー・サポート・センター事業						
量の 見込み 及び 確保の 内容の 考え方	対象年齢	6歳～11歳						
	事業概要	児童の預かり等の援助を受けることを希望する者(依頼会員)と援助を行うことを希望する者(援助会員)との相互援助活動に関する連絡・調整を行う。						
	単位	件						
	算出根拠等	<p>【国の手引き・方針等】 すべての家庭類型、就学後、低学年のうちは(または高学年になってから、放課後「ファミリー・サポート・センター」を利用したいと回答した人。 ・ニーズ量からの見込みはないため、実績をベースとする。ただし、平成30年度から県の指導によりカウント方法が変わったため、H30年度 610人 実績値とR元年度 615人の見込み値から、概数である600人を各年度の補正值とした。</p>						
	備考							
確 保 内 容 の 見 込 み	市全域 低学年 高学年 計		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)	610	0	0	0	0	0
		同(補正值)		600	600	600	600	600
		② 確保の内容		600	600	600	600	600
		②-①		0	0	0	0	0

量の 見 込 み 及 び 確 保 の 内 容 の 考 え 方	事業名	一時預かり他<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)> 一時預かり他<2号認定による定期的な利用>						
	本市事業							
	対象年齢	3歳～5歳						
	事業概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児または幼児について、主に昼間において、保育所やその他の場所で一時的に預かる。						
	単位	人日/年						
量の 見 込 み と 確 保 内 容	算出根拠等	<p>【国の手引き・方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭類型がタイプC・D・E・Fで、ア:今後、幼稚園または認定こども園を利用したいと回答した人で、かつ、不定期事業を「利用したい」と回答した人。 イ:現在、幼稚園を利用している人で、かつ、一時預かり等を利用している人。そのうちの【1号認定者】 ・家庭類型がタイプA・B・C・Eで、ア:今後、幼稚園または認定こども園を利用したいと回答した人で、かつ、不定期事業を「利用したい」と回答した人。 イ:現在、幼稚園を利用している人で、かつ、一時預かり等を利用している人。そのうちの【2号認定者】 <p>・市内全ての幼稚園の預かり保育数を見込む。R元年度10月、11月実績から算出</p>						
	備考							
	市全域		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)1号		767	732	709	696	671
		① 量の見込み(国)2号		23,371	22,316	21,618	21,214	20,454
		同(補正值)		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		② 確保の内容		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		②-①		0	0	0	0	0

量の 見 込 み 及 び 確 保 の 内 容 の 考 え 方	事業名	一時預かり他<上記以外>						
	本市事業							
	対象年齢	0歳～5歳						
	事業概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児または幼児について、主に昼間において、保育所やその他の場所で一時的に預かる。						
	単位	人日/年						
量の 見 込 み と 確 保 内 容	算出根拠等	<p>【国の手引き・方針等】</p> <p>すべての家庭類型で、不定期事業を「利用したい」と回答した人。</p> <p>H27 2,659人、H28 2,459人、H29 1,949人、H30 1,661人 減少傾向にあるので、H30の概数1,600で各年度見込む。</p>						
	備考							
	市全域		H30年度実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)		14,346	13,762	13,354	13,028	12,606
		同(補正值)		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		② 確保の内容		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		時間外保育事業						
本市事業		時間外保育事業(延長保育)						
量の 見込み 及び 確保 の 内容 の 考 え 方	対象年齢	0歳～5歳						
	事業概要	保育時間の延長に対する需要に対応するために、11時間の保育所開所時間を超えて保育を行う。						
	単位	人						
	算出根拠等	【国の手引き・方針等】 家庭類型がA・B・C・Eで、今後、認定こども園、保育所等を利用したい人、かつ、利用希望時間が18時以降の人。 ・実績値はH27 764人 H28 748人 H29 621人 H30 610人 4年間の単年度平均減少率0.928をH30の610人に乗じてR元年度を推計値を出し、以下同様に推計すると、R2年度 525人 R3年度 487人 R4年度 452人 R5年度 419人 R6年度 389人となり、ニーズ調査の見込み量とかい離があるため、実績値から算出した推計値を採用する。						
	備考							
量の 見 込 み と 確 保 内 容	市全域		H30年度実績値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)	610	440	422	409	399	386
		同(補正值)	610	525	487	452	419	389
		② 確保の内容		525	487	452	419	389
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター						
本市事業		病児保育事業						
量の 見込み 及び 確保 の 内容 の 考 え 方	対象年齢	0歳～5歳						
	事業概要	発熱等の急な病気や病気からの回復期などで、集団保育が困難な児童を一時的に医療機関において保育を行う。						
	単位	人日/年						
	算出根拠等	【国の手引き・方針等】 家庭類型がタイプA・B・C・Eで、子どもが病気やケガにより、「母親または父親が休んだ人」のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人及び病児・病後児保育施設等、ファミリー・サポート・センターを利用した人、「仕方なく子どもだけで留守番させた」と回答した人。 ・実績とのかい離が大きいため、H27 1,171人日 H28 1,265人日 H29 1,318人日 H30 1,275人日の4年間の平均実績値1,257人日に準拠して、各年度1,300人日に市外利用分300人日を加えた数値とする。						
	備考							
量の 見 込 み と 確 保 内 容	市全域		H30年度実績値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		① 量の見込み(国)	1,275	4,806	4,609	4,472	4,364	4,222
		同(補正值)		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		② 確保の内容		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		②-①		0	0	0	0	0

事業名		放課後児童健全事業						
量の 見込み 及び 確保 の 内容 の 考え 方	本市事業	放課後児童クラブ						
	対象年齢	6歳～11歳						
	事業概要	保護者の就労や疾病等の理由で、放課後に保護を受けることができないおおむね10歳未満の児童に対して、学校や児童館などで、放課後に生活の場、適切な遊びの場を提供する。 (一般的に「学童保育」と呼ばれることが多い。)						
	単位	人						
	算出根拠等	【国の手引き・方針等】 家庭類型がタイプA・B・C・E及びC'・E'で、就学後、低学年のうち(または高学年になってから)、放課後「放課後児童クラブ」で過ごさせたいと回答した人。 ・低学年、高学年ともに実績値と乖離がある。とくに高学年は高くなる傾向にある。 ・H30年度の低学年人数 684人を基準とし、H30年度の小学生数とコーホート要因法で推計した各年度の推計小学生数とを案分し、各年度の低学年人数を算出した。 ・低学年、高学年については、現在6年生まで受け入れている児童クラブの構成割合から低学年85%、高学年15%で各年度配分した。 ・各児童クラブの人数は、コーホート要因法で各校区ごとに推計した各年度の推計小学生数で案分して、配分した。						
備考								
量の 保 内 込 み と 確	市全域		H30年度実績値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	低学年	① 量の見込み(国)	684	995	996	991	957	913
		同(補正值)		676	665	673	666	653
	高学年	① 量の見込み(国)	28	508	521	512	510	510
		同(補正值)		119	117	119	118	115
	計	① 量の見込み(国)	712	1,503	1,517	1,504	1,466	1,423
		同(補正值)		795	782	792	784	768
		② 確保の内容		770	770	770	833	833
		②-①		△ 25	△ 12	△ 22	49	65

放課後児童クラブ校区別

市全域	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	795	782	792	784	768
低学年	676	665	673	666	653
高学年	119	117	119	118	115
②確保方策	770	770	770	833	833
②-①	▲25	▲12	▲22	49	65

本山児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	49	44	41	38	37
低学年	42	38	35	32	31
高学年	7	6	6	6	6
②確保方策	47	47	47	47	47
②-①	▲2	3	6	9	10

赤崎児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	86	80	79	73	71
低学年	72	68	66	61	60
高学年	14	12	13	12	11
②確保方策	81	81	81	81	81
②-①	▲5	1	2	8	10

須恵児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	112	111	114	117	114
低学年	96	95	97	100	98
高学年	16	16	17	17	16
②確保方策	106	106	106	106	106
②-①	▲6	▲5	▲8	▲11	▲8

小野田児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	73	71	69	68	65
低学年	61	59	58	57	55
高学年	12	12	11	11	10
②確保方策	57	57	57	80	80
②-①	▲16	▲14	▲12	12	15

高泊児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	63	58	58	57	55
低学年	54	49	49	48	47
高学年	9	9	9	9	8
②確保方策	62	62	62	62	62
②-①	▲1	4	4	5	7

高千帆児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	134	143	152	159	159
低学年	114	123	131	136	135
高学年	20	20	21	23	24
②確保方策	120	120	120	160	160
②-①	▲ 14	▲ 23	▲ 32	1	1

有帆児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	32	31	31	30	31
低学年	26	26	26	26	27
高学年	6	5	5	4	4
②確保方策	40	40	40	40	40
②-①	8	9	9	10	9

厚狭児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	145	146	151	151	152
低学年	123	123	128	129	130
高学年	22	23	23	22	22
②確保方策	123	123	123	123	123
②-①	▲ 22	▲ 23	▲ 28	▲ 28	▲ 29

厚陽児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	17	16	16	15	14
低学年	15	14	14	12	11
高学年	2	2	2	3	3
②確保方策	30	30	30	30	30
②-①	13	14	14	15	16

出合児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	36	36	34	32	30
低学年	32	31	29	27	25
高学年	4	5	5	5	5
②確保方策	44	44	44	44	44
②-①	8	8	10	12	14

津布田児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	9	7	7	5	5
低学年	8	6	5	4	4
高学年	1	1	2	1	1
②確保方策	20	20	20	20	20
②-①	11	13	13	15	15

埴生児童クラブ	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	39	39	40	39	35
低学年	33	33	35	34	30
高学年	6	6	5	5	5
②確保方策	40	40	40	40	40
②-①	1	1	0	1	5